

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	須崎市
共同提案者名	日高村、高知ニューエナジー株式会社、合同会社高知ニューエナジー脱炭素推進機構、土佐くろしお農協協同組合、株式会社高知銀行
選定回	第3回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	農業振興、収益の地域還元
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携、地域間連携
需要家・エリア設定	農林水産施設、公共施設群
創出する再エネの種類・導入技術等	熱利用、高度なエネマネ（VPP、DR、MG、大型蓄電池等）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{9.6939343}{1,055,468} (\%) + \frac{0}{0} (\%) \right) \div \frac{10,887,922}{10,887,922} (\text{kWh/年}) = 10 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	598	2,511,600	0	0	0	0	0	0	実績なし	
	その他						0				
民生・業務その他	オフィスビル						0				
	商業施設	21	1,851,728	350,877	271,393	0	0	622,270	0	252	
	宿泊施設							0			
	その他							0			
公共	公共施設	169	6,500,537	160,308	272,890	0	0	433,198	0	128	
	その他	1	24,057	0	0	0	0	0	0	0	
合計			10,887,922	511,185	544,283	0	0	1,055,468	0	379	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	0	1,375	699						2,074

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
10	30	60	100	100	100

2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		38,027,067	37,376,354	31,458,898	13,677,479	6,306,215	0	0	0
	累計		38,027,067	75,403,421	106,862,319	120,539,798	126,846,013	126,846,013	126,846,013	126,846,013
実績	単年度		0	0	20,349,423					
	累計		0	0	20,349,423					

2-2.個別KPIの進捗状況

■指標①：二酸化炭素排出量 t-CO2(須崎市・施設園芸)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	-153	-1258	-3280	-2708	0	0	0
	累計		17,705	17,552	16,294	13,015	10,307	10,307	10,307	10,307
実績	単年度		0	0	-190.6					
	累計		17,705	17,705	17,514					

実績詳細	事業実施主体であるJA土佐くろしおが脱炭素先行地域内の農家さんと交渉し、R7年度は地下水熱を利用したヒートポンプを5件のハウスで導入見込み。
------	--

■指標②：公共施設及び一般住宅への太陽光発電設備の導入件数(須崎市)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		4	24	36	33	23	0	0	0
	累計		4	28	64	97	120	120	120	120
実績	単年度		0	3	3					
	累計		0	3	6					

実績詳細	R6年度はJA土佐くろしおの3施設に太陽光パネル、および蓄電池を設置した。 R7年度よりこれまで遅れている事業量も含めて導入を進めていく予定である。 公共施設への導入については、浦ノ内小学校、朝ヶ丘中学校、市役所本庁舎に太陽光設備および蓄電池を設置する予定である。
------	--

■指標③：二酸化炭素排出量千t-CO2(日高村・トマト団地)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	-6.9	-6.9	-6.9	-6.9	0	0	0
	累計		46.85	39.95	33.05	26.15	19.25	19.25	19.25	19.25
実績	単年度		0	-0.052	0					
	累計		46.85	46.798	46.798					

実績詳細	9月末時点で契約済みのものはないが、年度内に最低1件の事業実施見込み。
------	-------------------------------------

■指標④：公共施設及び一般住宅への太陽光発電設備の導入件数(日高村)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	6	20	21	21	0	0	0
	累計		2	8	28	49	70	70	70	70
実績	単年度		0	3	20					
	累計		2	5	25					

実績詳細	先行事業であった村営住宅の建築が始まり、住宅・公共施設と併せて20件分の導入見込み。
------	--

3.横展開の可能性について

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

【須崎市】

●自治体外への横展開

高知大学理科教員研修での視察受け入れ8名（地下水熱を利用した農業用ヒートポンプを活用している農業ハウス視察）

●市内の先行地域外への横展開

○普及啓発の取組により、市全域において理解醸成を図っている。

（令和7年度）

須崎市保育まつり（地球温暖化を考えるブース出展）

・小中学校への出前授業（1件）

○先行地域における個別住宅への太陽光発電設備および蓄電池設置事業の説明会の開催（9件）

個別訪問の開始を予定している

●施設園芸の脱炭素（暖房等）の横展開

【日高村】

日高村トマト団地における、高効率空調機器の導入について、JA高知県日高支所や高知県の農業に知見を有する関係各課との協議を毎月行っており、事業の完了後は事例の横展開ができるよう検討している。

【須崎市・日高村】

両地域とも生産部会員には先行地域外の部会員が存在しており、須崎市ミョウガ部会では津野町、中土佐町、日高村トマト部会では佐川町などの生産者が構成員として活動中である。脱炭素型暖房設備の横展開として、まずは両地域の部会全体への普及を目指す計画である。津野町及び中土佐町の首長をはじめとする関係部署とは、先行地域に須崎市が指定された時点で同じ部会内の生産者間において、暖房機械導入に格差が生じない様、様々な取り組みを行う事が了承されており、本年度の須崎市での結果を受け、JA土佐くろしお内での横展開を図っていく。日高村トマト部会においては、佐川町などの部会員への横展開はこれからであるが、日高村担当課から佐川町への相談など、関係機関のご支援を頂きたい部分である。高知県下への横展開については、高知県農業振興部環境農業推進課及び農業イノベーション推進課のご支援を頂き、関係者への情報発信に努めたい。また、装置の実証展示として高知県農業技術センター内への実機設置などを検討し、イノベーションを含むブラッシュアップを検討したい。

4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

【須崎市】

市の最上位計画である「須崎市総合計画及び第3期須崎市総合戦略（令和7年3月策定）」では、特に重点的に取り組むべき施策の一つとして「安心して暮らせるまちづくり」を掲げ、これまでの再生可能エネルギーの利用促進とあわせて、住民や事業者、公共施設の省エネルギー化を推進し、温室効果ガス排出抑制を図ることとしている。

また、須崎市地球温暖化対策実行計画（令和5年3月策定）」において須崎市の重点プロジェクトとして位置づけ、2050年のカーボンニュートラル実現を目指している。

【日高村】

当村の最上位計画である「第6次日高村総合振興計画（令和3年3月策定）」で掲げる、地球温暖化対策の推進を実現するため「日高村地域再エネ導入戦略（令和4年1月策定）」し、持続可能な村づくりや豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、太陽光発電などの再生可能エネルギーの最大限活用することとしている。

令和4年3月には、前述の内容に取り組むことを「日高村2050ゼロカーボンシティ宣言」にて発表しており、実現を目指している。